

地質サイトカード

カードNo.	A-①-14	通しNo.	14	作成日	2025/3/10
サイト名	ちくみ はしよくだな 千酌の波食棚				
基本情報	エリア	島根半島 探訪サイト			
	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 地質・地形	<input type="checkbox"/> 生態	<input checked="" type="checkbox"/> 文化	
	利用価値	<input checked="" type="checkbox"/> 科学	<input checked="" type="checkbox"/> 教育	<input type="checkbox"/> 観光・ツアー	
	所在地	松江市美保関町千酌			
	アクセス	松江だんだん道路川津ICから約15km、約20分。千酌湾の西の防波堤を越えて行く。			
	周辺施設	<input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 売店 <input type="checkbox"/> 飲食店 <input checked="" type="checkbox"/> 駐車場(港に10台程度台) <input type="checkbox"/> ウォーキングコース <input type="checkbox"/> サイクリングコース <input type="checkbox"/> 観光施設()			
	看板整備				
	留意点				
保護・保全	法規制・関連団体等	大山隠岐国立公園			
	保全メモ				
サイトの解説	みどころ	深海の斜面に堆積した地層が洗濯板のように露出した波食棚。			
	地質・地形	<p>千酌海岸には、潮位が低い時に洗濯板のような波食棚が一面に広がる。この地層は、1400～1500万年前の日本海の海底扇状地で堆積した泥岩を主とする砂岩との互層である。この地層の特徴は数 cmから数10 cmほどの厚さで、淡灰色の粗～中粒砂岩層と暗灰色の泥岩層がリズムに交互に重なっていることである。砂岩層は薄いため侵食で凹み、泥岩層は出っ張っているため、洗濯岩(板)のような景観を呈している。この泥岩層から、深海生のペッカムニシキヤワタゾツキヒガイの化石が産出する。他にも大型の深海生二枚貝であるオオハネガイの仲間やクジラの歯や骨の化石、植物化石等も産出している。</p>			
	歴史・文化 生物・生態 等	『出雲国風土記』では、千酌浜は隠岐国への渡航の起点になっている。			
写真・図等					
参考文献	島根半島四十二浦巡りの旅、鹿野和彦・吉田史郎(1985)境港地域の地質				